

公共トイレへのオストメイト トイレの設置拡充と周知を

共産党議員団 柏木 敬友子

問 公共トイレにオストメイト対応トイレを整備し周知することは、ハード面のバリアフリーだけでなく、市民の合理的配慮に対する理解促進につながると考えるが、見解は

答 オストメイト対応トイレの設置が進むことで、その理解が広まると考えられる。市障害者差別解消支援地域協議会などで協議しつつ、広く市民に正しく理解してもらうための周知・啓発の手法を協議していく。



市役所新館に設置されているオストメイト対応トイレ

市政一般

笑顔を広げていく取り組みとして市職員は笑顔での接遇を

新和会 河村 浩史

問 長引くコロナ禍による閉塞感を打破する間接的な取り組みとして、市職員が笑顔で業務遂行できる仕掛けづくりを積極的に実施すべきでは

答 マスクの装着により表情が見えにくい状態であるため、笑顔が想像できるような声に乗せて表情を伝えるよう心掛けるほか、笑顔の写真を用いた名札の更新や、笑顔に軸足を置いた内容の職員研修の実施検討などにより、職員の意識を高めていく。

持ち運べる大津市役所の実現 に向けた取り組みの推進を

新和会 神田 健次

問 長期化するコロナ禍の中、市民に必要な行政サービスをLINEにより利用可能とする取り組みの進捗状況と令和4年度以降の展開は

答 令和元年8月に大津市LINE公式アカウントの運用を開始し、メニュー拡充など利便性向上を図ってきた。その登録者数は着実に増えており、令和4年10月には利用者が欲しい情報をプッシュ型で受け取れる仕組みを導入する予定である。

歴史文化に係る組織改編が まちづくりへもたらす効果は

新和会 伴 孝昭

問 以前にも県の例を示し、市の組織改編の方向性をただしたが、令和4年度の機構改革により文化財保護行政と歴史博物館を教育委員会から市長部局へ移管するに至った見解は

答 市長部局に移管し、歴史文化の保存と活用を踏まえたまちづくりを一層推進するため、歴史文化の保存

および活用に関する施策と、景観まちづくり、観光振興などに係る施策等を一体的に実施していく。

葛川地域での民間による小規模水力発電事業計画の前進を

新和会 細川 俊行

問 市は2050年カーボンニュートラルの実現を見据え、郊外での再生可能エネルギー創出を推進しているとされているが、葛川地域での民間企業による小規模な水力発電事業の計画に対し、現時点での市の考えは

答 民間企業による小規模な水力発電事業の取り組みは、2050年カーボンニュートラルの実現に寄与するものであると考えており、関係者と積極的に情報共有を図っていく。

歴史文化の活用による 市政の活性化を

湖誠会 竹内 基一

問 歴史文化を市の活性化に役立たせたいとの市長の考えを実現するための今後の取り組みは

答 歴史的風致維持向上計画などに基づき歴史文化の魅力発信などに取り組みほか、機構改革により、歴史文化の保存・活用施策と、景観や観光振興などに係る施策を市長部局で一体的に実施し、市民や団体などと連携した歴史文化の保存と活用によるまちづくりを一層推進していく。

街路樹の根上がり対策を講じる ためデータの管理と活用を

市民ネット21 田中 知久

問 限られた予算で最大の効果を発揮するためには、根上がり箇所全体の把握、計画的な対処が求められる。対策を施した街路樹の経年変化を観察し、よりよい対策を講じるためのデータとして蓄積すべきでは

答 平成30年度に実施した調査後、根上がりが著しい箇所については適宜必要な対策を講じており、今後も施工履歴を記録にとどめ、毎年度の維持管理業務に活用していく。



市道上における根上がりの様子

ゼロカーボンの実現に向けた 適切な庁舎整備を

市民ネット21 船本 力

問 本市はゼロカーボンシティ宣言をしたことから、今後10年近くかかりそうな新庁舎整備までの間、老朽設備の省エネルギー設備への更新などが必要と考えるが、大規模改修に当たっての市の見解は

(次ページへ続く)

※2050年カーボンニュートラルとゼロカーボンシティ
2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロを目指すことを2050年カーボンニュートラルといい、これに取り組むことを首長などが宣言した都道府県や市町村のことをゼロカーボンシティという

※根上がり 街路樹が生長するにつれて根が太くなり、根が歩道の縁石や舗装を持ち上げ、歩道がでこぼこになること

※オストメイト対応トイレ
人工肛門や人工膀胱の保有者(オストメイト)が排せつなどの処理をしやすい機能を備えたトイレ